
プレスリリース

香港 | 2022 年 1 月 20 日

アートバーゼルはアジアおよび世界各地より 130 軒の主要ギャラリー陣を迎え、2022 年の香港フェアの開催を発表

- アートバーゼル香港は、世界 28 の国と地域から選ばれた 130 軒の主要ギャラリー陣を迎え、2022 年、香港コンベンション&エキシビションセンター（HKCEC）に帰って参ります。昨年の 104 軒から大幅に増加し、アジア太平洋地域における主要な国際アートフェアとしての地位を再び強固なものとしています。
- 2022 年は、15 軒の初参加に加え、75 軒のギャラリーがサテライトブースへの参加を予定しています。後者については国際的な渡航制限を受け考え出されたこのコンセプトが最初に採用された昨年の 57 軒から更に増加しています。
- アートバーゼルは、香港のアートコミュニティや世界レベルの美術機関、非営利団体や業界の牽引者らと再び提携し、魅力的な展示や特別プロジェクトなどのプログラムをオンラインと実会場の双方において提供致します。
- 2021 年のアートバーゼル香港にて最初に披露されたフェアのデジタルイニシアチブであるアートバーゼルライブは、オンラインで参加する世界中の観客に参加ギャラリーのプレゼンテーションを広く訴求してゆきます。
- UBS をリードパートナーとするアートバーゼル香港は 2022 年 5 月 27 日から 5 月 29 日まで、内覧会（招待制）は 5 月 25 日と 5 月 26 日に開催されます。

2022 年のアートバーゼル香港は、香港とアジア、そして世界中からの強力なギャラリー陣 130 軒を紹介致します。パンデミックにまつわる課題と香港の渡航・検疫制限が継続する状況であるにもかかわらず、参加軒数は昨年度の 104 軒から顕著な増加を見せています。フェアには、マドリードからガレリア・カヨン、香港からルーシー・チャン・ファインアーツとマイン・プロジェクト、東京と福岡にスペースを持つみぞえ画廊、高崎にスペースを所有するリン・アートアソシエーション、パリからギャラリー・ヴァジュ、東京とブリュッセルにスペースを持つミサコ&ローゼン、ソウルよりジェイソン・ハーム、ホーチミンよりヴ

イン・ギャラリー、ヘルシンキよりギャルリ・フォルスブロム、ブカレストよりカティンカ・タバカル、パリからギャルリ・ミッテラン、ミュンヘンよりヤーン・ウント・ヤーン (Jahn und Jahn)、メキシコシティよりマイア・コンテンポラリー、そしてグラスゴーからのケンダル・コップなど、15 軒の初参加ギャラリーを迎えます。

現行の国際的な渡航制限を考慮して、アートバーゼルは今回もフェアの全てのセクターに渡り、サテライトブースに参加する機会を提供致します。香港への渡航が難しいギャラリーは2021年に初めて導入されたこのサテライトブースを通して、アートバーゼルの提供する現地スタッフの支援の元、キュレーションされた展示を展開する機会が与えられます。今年は長年香港フェアに参加しているベルリンのエスター・シッパー、東京のユミコチバ・アソシエイツ、ニューヨークの47 キャナル、ロンドンからカルロスノイシカワ、ソウルと釜山にスペースを持つクッチェ・ギャラリー、北京から蜂巢当代艺术中心 (Hive Center for Contemporary Art) など75 軒の参加が予定されています。ベルリンとカールスルーエにスペースを持つメヤー・リーガーとデュッセルドルフのジース+フーケ (Sies + Höke) は、共同サテライトブースで参加の予定です。

アートバーゼルの実会場とデジタルプラットフォームを全面的に統合し、ハイブリッド形式を採用するアートバーゼル香港は、デジタルイニシアチブであるアートバーゼルライブを通じて、世界中の観客にその活気と興奮を届けます。2021年のアートバーゼル香港でのローンチに続き、バーゼルとマイアミビーチでも成功を収めたアートバーゼルライブは、オンライン・ビューイングルームやバーチャルウォークスルー、ソーシャルメディア配信やアジアのアート界からの著名人を含む国際的に著名な方々による対話、またパフォーマンスの領域に拡張されたレクチャーなどをライブストリーミングで発信致します。

アートバーゼル、ディレクターアジアのアデリン・ウーイは以下のようにコメントしています。「昨年は難しい1年でしたが、同時にアートバーゼル香港にとっては非常にやりがいのある1年でもありました。私たちはローカル並びに国際的なコミュニティやパートナーと協力し、アジアと世界各地において有意義なつながりの築きを可能にするハイブリッドなフェアの実現に尽力しています。75 軒のサテライトブースを含む130 軒の参加ギャラリーを受け、グローバルな視点からアジアへの理解を更に深めるキュレーションでアートを展開する彼らの献身的な取り組みに深く心を動かされています。」

アートバーゼル、グローバルディレクターのマーク・シュピーグラーはこう付け加えています。「香港フェアに参加するギャラリーの、その驚くべき献身的な取り組みと急増する参加数は感動的です。これはフェアが地域の文化交流の重要なプラットフォームとして引き続き機能していることの証であると思います。」

ギャラリーズ部門

フェアメインの当部門では、世界の主要ギャラリー96軒が最高品質の絵画、彫刻、ドローイング、インスタレーション、写真、ビデオ、そしてデジタル作品を紹介します。今年のギャラリーズ部門では再びアジアと世界各地の多様なアートシーン、その類稀な概観を舞台にあげ、歴史的な作品と新進アーティストやギャラリーの双方を取り上げながら20世紀の先駆的实践と現在における最先端の立ち位置との間の予期せぬ新たな出会いを創出してゆきます。ハイライトの一部に、ロッシ&ロッシによるカトマンズ生まれ、オークランドを拠点に活動するツェリン・シェルパの回顧展、先駆的現代美術家・ゼン・グオグの新作とパク・シユウン・チュエンはビタミンクリエイティブスペースから、エドゥアルド・テラス、ガブリエル・デ・ラ・モラ、エドガー・オルライネタ、三人の異なる年代のメキシコ人アーティストの作品を通して同国の現代美術の実践への洞察が展開されます。香港フェア初参加となるヤーン・ウント・ヤーンは「秩序としるし (Order and Signs)」と題されたアンリ・ミショーの1970年代と1980年代の作品が紹介されます。ギャラリー部門の全参加ギャラリーリストは、artbasel.com/hongkong/galleries をご参照下さい。

インサイト部門

16軒のギャラリーが参加する本年のインサイト部門では、アジア並びに太平洋地域における近代美術の歴史が、地域の重要アーティストの作品を通じたキュレーション展示によって例解されます。ハイライトとして、ア・サウザンド・プラトーズ・アートスペースからはニューヨークでのパンデミックによるロックダウン下で制作された一連の新しい絵画を含む、ワン・チュアンは過去30年間に及ぶその創造的な進化を、エンプティ・ギャラリーからは、南シナ海と香港の境界線の同時代的映像と、歴史的なアヘン戦争の遺跡の画像を対比的に併置するジェームズ・T・ホンの学際的デュアルチャンネルフィルムが、アクセル・フェルフォート・ギャラリーからは今井祝雄の1960年代・1970年代から近年の作品に到るまで、その多岐にわたる実践が紹介されます。インサイト部門の全参加ギャラリーリストについては、artbasel.com/hongkong/insights をご参照下さい。

ディスカバリーズ部門

個展形式で新進アーティストを紹介するディスカバリー部門には今年、18軒のギャラリーによる展示を展開します。初参加となるマイア・コンテンポラリーからは、ラジカセやレコードプレーヤー、磁気テープやラジオレコーダーといった時代遅れの機器を取り入れることで失われた世代の文化的残骸に光をあてる**シスコ・ヒメネス**の絵画と彫刻の新作シリーズを、カティンカ・タバカルは、厳格なモノクローム絵画で知られるスリナム人アーティスト、**ザビエル・ロブレス・デ・メディナ**の作品を紹介します。その他のハイライトとしては、抽象絵画と静物画の伝統を拡張する**アレック・イーガン**の瑞々しい絵画や（アナト・イービージーアイ）、夜の熱帯雨林に着想を得て制作された**范西**による没入型作品「The Temptation」シリーズ（CLC ギャラリーベンチャー）、**デュサディー・ハンタクーン**による特有のブロンズ彫刻と超現実主義的ドローイングからなる新しい作品群「世界を見通すレンズ（A Lens to See the World Through）」（バンコク・シティシティ・ギャラリー）などが展示されます。ディスカバリー部門の全参加ギャラリーリストについては artbasel.com/hongkong/discoveries をご参照下さい。

美術館展覧会並びにアート機関

香港のアートコミュニティは、活況を極める地元のアートシーンを称えるため再び集結致します。アート機関や非営利団体、著名・新進アーティストと提携し、一連の魅力的な展覧会や特別プログラムを香港の卓越したアート施設で開催致します。詳細はフェア開催間近に発表致します。

編集者の皆様へ

アート・バーゼルについて

1970年、バーゼルのギャラリストたちによって設立されたアートバーゼルは、近現代アートを紹介する世界随一のアートフェアを、バーゼル、マイアミビーチ、香港で開催しています。開催都市と地域によってそれぞれのフェアには独自性が生まれ、それは参加ギャラリーや展示作品、また各回毎に地元機関とのコラボレーションの元同時開催されているプログラム内容にもあらわれています。アートバーゼルの役割はアートフェアの領域を超えて拡大しており、新しいデジタルプラットフォームや、アートバーゼルとUBSによるグローバル・アートマーケットリポート、BMW アートジャーニーなど多くの新しいイニシアチブを展開しています。詳しくは、artbasel.com をご参照下さい。

アート・バーゼル香港 選考委員会

マッシモ・デ・カルロ、マッシモ・デ・カルロ（香港／パリ／ミラノ／ロンドン）

エミ・ユ、STPI（シンガポール）

デヴィッド・モーピン、リーマン・モーピン（ニューヨーク／ロンドン／ソウル）

ウルス・ミーレ、ギャルリ・ウルス・ミーレ（北京／ルツェルン）

蜷川敦子、タケナガワ（東京）

ボヨン・スン、クッチェ・ギャラリー（ソウル／釜山）

張巍（Zhang Wei）、ヴィタミン・クリエイティヴ・スペース（北京／広州）

ディスカバリーズ及びインサイト部門のエキスパート：

ヴァネッサ・カルロス、カルロス／イシカワ（ロンドン）

ジュン・ティアタジ、ROH プロジェクト（ジャカルタ）

サイモン・ワン、アンテナスペース（上海）

パートナー

UBS & コンテンポラリーアート

アートバーゼルのリードパートナーである UBS は、長年にわたり、現代アート並びにアーティストの支援を続けてきました。同社は世界的に最も優れた企業アートコレクションのひとつに数えられるコレクションを保有しており、アートバーゼルのグローバル・リードパートナーシップを通じて、また「アートバーゼルと UBS | グローバルアートマーケットレポート」の共同発行者として、アートマーケットにおける国際的な対話促進に務めています。UBS はまた、スイスのバイエラー財団、ロシアのガレージ現代美術館、オーストラリアのニューサウスウェールズ州立美術館などの美術機関とも提携しています。同社は UBS コレクターサークル並びに UBS アートアドバイザリーの活動を通じて、アートマーケットや蒐集、レガシープランニングに関する知識をクライアントに提供しています。UBS による現代アートへの取り組みの詳細については、ubs.com/art をご参照下さい。

アートバーゼルのアソシエイト・パートナーは、オーデマ・ピゲです。同社の現代アートプログラムである「オーデマ・ピゲ・コンテンポラリー」は、国際的に活躍するアーティストへのコミッション依頼を通して、その作品制作を支援しています。

アートバーゼルはまた、アートバーゼルと共に BMW アート・ジャーニーを立ち上げた BMW の他、ラ・プレーリーとサンロレンツォ、ルイナールと On から支援も受けています。

香港のローカルパートナーは、スワイヤ・プロパティーズ（太古地産）、ザ・マッカラン、クインテセンシャリー、ローズウッドホテルズ&リゾーツ、そして タイピンです。また、アートバーゼルのグローバルメディアパートナーは、フィナンシャルタイムズです。パートナーシップについての詳細は artbasel.com/partners をご覧下さい

内覧会（招待制）

2022年5月25日（水）、5月26日（木）

一般公開

2022年5月27日（金） - 5月29日（日）

プレス認定

オンラインでのアートバーゼル香港へのプレス認定への登録は、4月初旬の開始を予定しています。詳細は artbasel.com/accreditation をご参照下さい。

今後のアートバーゼル開催予定

香港、2022年5月27日-29日

バーゼル、2022年6月16日-19日

マイアミ・ビーチ、2022年12月1日-3日

オンラインプレス情報

プレス情報、画像は artbasel.com/press から直接ダウンロードしていただけます。報道関係者はメディアメーリングリストにご登録いただくと、アートバーゼルの情報を受け取ることができます。

アートバーゼルに関する最新情報は artbasel.com をご覧ください。また、Facebook ページ facebook.com/artbasel、インスタグラム・ツイッター・Wechat では @artbasel にてフォローして頂けます。

プレス連絡先

アートバーゼル | Sarah Degen（インターナショナルメディア対応）

電話 +41 58 206 27 06、press@artbasel.com

アートバーゼル | Fay Pang (アジアメディア対応)

電話 +852 3575 8487、press@artbasel.com

アジア向け PR 担当

SUTTON | Carol Lo

電話 +852 3521 2836、carol@suttoncomms.com

欧州向け PR 担当

SUTTON | Joseph Lamb

電話 +44 7715 666 041、joseph@suttoncomms.com

南北アメリカ、中東、アフリカ向け PR 担当

FITZ & CO | Yun Lee

電話 +1 646 589 0920、ylee@fitzandco.com